



カレーライス



こぐまじゅんこ

ぼくは、カレーライスが大すきだ。暑い夏に、ヒーヒー言いながら、からいカレーを食べると汗がどっとでて、なんだかワイルドな男になった気がする。でも、ついうっかりおかあさんに、

「カレー、おいしいね。ぼく大すきだよ。」

と言ってしまってから、おかあさんは、毎日カレーを作りだした。

牛肉、じゃがいも、にんじん、たまねぎ、そして、バーモントカレーのルーでできたカレー。うん、悪くはない。おいしい。

でも、次の日もカレー。

「また、カレー？ちょっとあきたよ。」

と言うとおかあさんは、

「そうなの？」

と言った。

次の日は、おかあさんは、なんだかはりきって小麦粉とカレー粉を炒めて、カレーを作ってしまった。

そうじゃなくて・・・。

「どう？」

ときいてくるおかあさんに、

「まずくはないけど・・・。」

と答えた。

すると、次の日は、おかあさんは楽しそうにチョコレートを入れてカレーを作った。

そうじゃなくて・・・。

「いくら好きでも毎日カレーじゃ、さすがにあきるんだよ。」

と、ぼくは言いたかったけど、おかあさんが、あんまり楽しそうにカレーを作っているものだから、つい言いそびれてしまった。

「どう？」

ときいてくるおかあさんに、またぼくは、仕方なく

「まずくはないけど・・・。」

と、つぶやく。

次の日は、はちみつを入れている。

そうじゃなくて・・・。

おかあさん、どんどんいろんなことしてるけど、ぼくが食べたいのは、ハンバーグ

なのに。

また次の日は、ヨーグルト入りカレー。

そうじゃなくて・・・。

今日は、オムライスが食べたいんだよ。

とうとう六日連続カレーを食べた。まあ、おかあさんがぼくのすきなものを食べさせたいっていう気持ちはわかっていたから、ぼくは文句を言いたいのを我慢した。

そして、七日目の晩。

おかあさんのカレーをひと口食べて、ぼくは驚いた。まろやかでコクがあって、今までこんなにおいしいカレーを食べたことがない。

「おかあさん、おいしいよ。このカレーは最高においしいよ。1皿800円ぐらいで売れるんじゃないの？」

言いながら、ぼくは2杯もおかわりしてしまった。

そして、なんと今、おかあさんは、カレーのお店をひらいている。